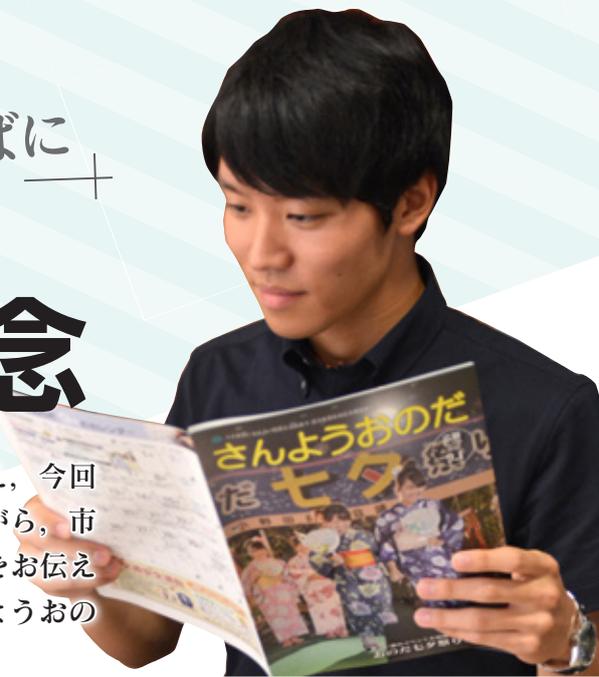


Thank you!
No.300
特集

これからもみなさんのそばに 広報「さんようおのだ」 300号記念



広報「さんようおのだ」は、平成17年4月1日創刊号から数え、今回で300号の発行となりました。市の発展と成長の軌跡を残しながら、市政情報のほか、生活に役立つ情報、市の出来事など、様々な情報をお伝えしてきました。今回の特集は、みなさんの身近にある広報「さんようおのだ」のことを、もっと知ってもらいたいと思い、企画しました。

主役は市民のみなさん 広報紙の歩み

広報「さんようおのだ」は、これまで、市民のみなさんの笑顔やがんばる姿を掲載してきました。広報「さんようおのだ」の主役は、山陽小野田で暮らし、いきいきと活動するみなさんです。広報紙の「顔」である表紙には、このまちの元気と笑顔を記録してきました。

左上から：創刊号「山陽小野田市」誕生!! (平成17年4/1号)、山口東京理科大学特集 (平成29年1/1号)、国民文化祭・やまぐち2006特集 (平成18年12/1号)、スキ・すき★スキんシップ (平成22年9/1号)、新市誕生10周年記念事業市民オペラ (平成27年3/1号)



広報紙 300号によせて

山陽小野田市長 藤田 剛二

広報「さんようおのだ」が300号に達しました。様々な情報や楽しい話題等の提供に努めながら、まちの「今」を届ける貴重な情報伝達ツールとして発行を重ねてきた結果であり、これまで関わっていただいた多くのみなさんに改めて感謝します。

自治体の広報は、まちづくりの主役である住民と行政とが信頼関係をつくり、協働によってまちづくりを進めていくという意味でも、役割はこれまで以上に重要となってきます。

近年、SNSをはじめとするソーシャルメディアの普及もあって、広報手段の多様化が進んでいます。行政とすれば、戦略的広報が一層求められています。その中でも紙を媒体として定期的に各家庭にお届けする広報紙は、市民のみなさんに有益な情報をお届けする貴重なツールです。市民全員で明るい話題や考えるべき課題を共有しましょう。そして、市民のみなさんが山陽小野田市に生まれて良かった、住んで良かったと感じていただけるような「活力と笑顔あふれるまち」にしていきましょう。

